

令和元年度 見沼区対話集会開催概要（2月）

No.	「質問・要望・提案」の内容	「回答・見解・処理方針」の内容
1	フレイル予防について、男性の方が現役を引きずり、外に出る機会が少ないと思うがどうか。	働く女性も多くなっており、男性に限った話ではなくなってくると考えています。さいたま市は東京のベットタウンとして発展してきたため、元々さいたま市に居住していなかった人が子育てを終えたり退職したりしたら、地元につながりがなく外に出にくい状況になりがちです。そういう人へ周知し、興味を持ちやすく、参加しやすい介護予防事業について、次の計画で考えていきたいと思えます。 【見沼区役所健康福祉部高齢介護課】
2	フレイルについて、周知や区民への浸透が進んでいないのではないか。	これまで、各自治会、地域包括支援センターをはじめ、各種団体での集まりにおいて冊子を配布しております。 【見沼区役所健康福祉部高齢介護課】
3	フレイルの冊子は、外出しない人に対して配布するべきではないか。	外出していない人に対してのアプローチは難しく、自治会など各団体と協力、連携しながら対応していきたいと思えます。【見沼区役所健康福祉部高齢介護課】
4	説明の中で2025年問題は乗り越えられるとのことだったが、その中で民生委員の働きは大きいものと思われる。その選出に苦労しているが、修正や改善など何か働きかけはあるのか。	民生委員の選出に苦慮されていることは把握しており、年齢の要件の緩和や書類の簡略化など、全区で本庁へ話をしているところで、その後要望します。【見沼区役所健康福祉部】